

# 抗菌めっき 【ケニファイン※ / KENIFINE】

各分野における環境志向、安全志向の高まりを受けて誕生した、抗菌性、抗ウイルス性、防カビ性、防藻性を特徴とした機能性表面処理技術です。従来、抗菌皮膜の代表とされた銀や銅、酸化チタンなどに比べ、優れた抗菌性能と装飾性を兼ね備えています。

## 特徴

### 1.極めて優れた抗菌性

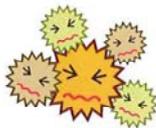
従来の抗菌材料の10倍以上のスピードで抗菌性を発揮します。

### 2.防カビ性、防藻性、抗ウイルス性も兼備

防カビ性は従来の抗菌材料の50倍以上で、藻、ウイルスにも効果があります。

### 3.暗所でも持続

1,2の効果は光の届かない場所にも有効に働きます。



### 4.効果の持続

1,2の効果は長時間持続します。

### 5.高硬度でできず付きにくい

市販の抗菌塗装抗菌ステンレスなどに比較して、高硬度で耐キズ付き性に優れています。

### 6.アフター加工が可能

抗菌めっき処理後に曲げ、プレス加工や溶接もできます。

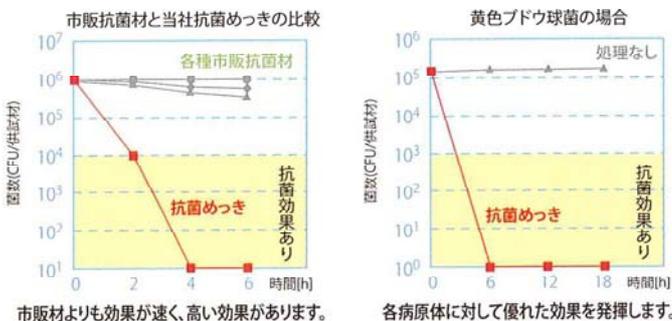
## 抗菌メカニズム

- (1) 表面の薄水膜に被膜抗菌イオンが溶出
- (2) 抗菌水膜が表面を被膜
- (3) バクテリアが抗菌水膜に接触
- (4) バクテリアを死に至らしめる

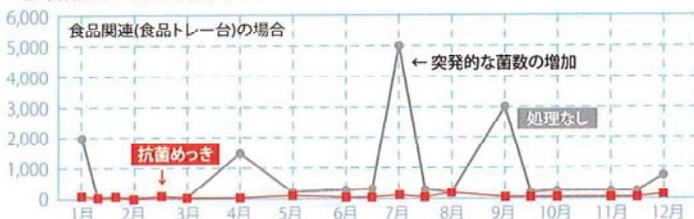


## 抗菌性

- 特に光を必要とせず、私たちの生活環境で速やかに抗菌効果を発揮します

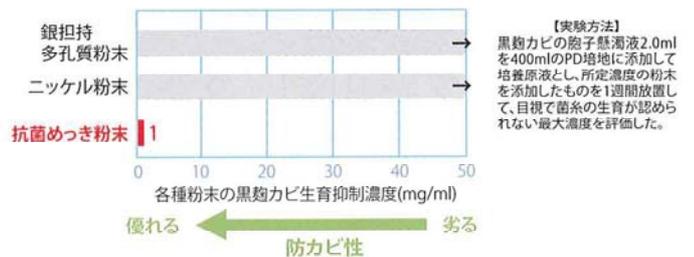


- 各用途で顕著な抗菌効果と効果の持続性が検証されています



## 防カビ性

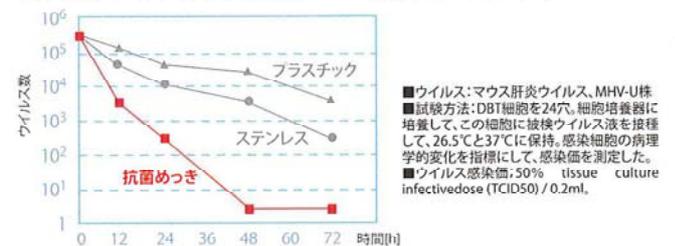
- 銀担持多孔質粉末の50倍以上の防カビ性を発揮します。



## 抗ウイルス性

- ウイルスに対しても効果を発揮します。

マウス肝炎コロナウイルス試験結果 26.5℃ (岩手大学と共同研究)



## 安全性

- 抗菌製品技術協議会の定める安全性試験等で確認しております。

ラットへの急性経口毒性試験

	抗菌めっき 2000mg/kg投与後数日		
	1日	7日	14日
雄	0/5	0/5	0/5
雌	0/5	0/5	0/5

ヒト皮膚貼付試験での刺激症状発症率

	抗菌めっき膜 48時間閉塞貼付後
男性	0% (紅斑全く見られず)
女性	0% (紅斑全く見られず)

## 耐久性・加工性

- 市販品に比べて高硬度で傷が付きにくく、効果が長時間持続します。
- 抗菌めっき処理後にアフター加工、溶接が可能です。加工部、溶接部も抗菌性を保持します。

※1 ケニファインは、株式会社神戸製鋼所の登録商標です。また、弊社は本技術のライセンスを取得しています。  
※2 ここに記載の抗菌処理に関する各種データは、株式会社神戸製鋼所のご厚意により、その技術資料を引用したものです。